

「そなえて安心」

石川県 金沢市立小坂小学校 3年 <sup>すぎもと</sup>杉本 <sup>けんたろう</sup>賢太郎

今年の7月はいつまでたっても梅雨があけなくて、ずっと雨がふり続いていました。たくさん雨がふった九州では、あちこちで土砂災害がいが発生し、たくさんの人が亡くなり、家がこわれてしまいました。

ぼくが住んでいる金沢市も、たくさん雨がふった時があり、本当にバケツの水をひっくりかえたように感じました。そして、何回もけいかいレベル3が発表され、「大丈夫かな」と心配していたのをよくおぼえています。水がいや土砂災害はいは日本全国で起こる可のう性があると思いました。

ぼくの通っている小学校では、夏休み中に災がいが起こってしまった時に、助かり、生きのびるために大切なことを学ぶオンライン防災教室が開かれました。

さい初に、「ハザードマップ」を見て、しん水する場所を家ぞくでかくにんしました。災がいが発生した時には、通っている小学校にひなんするように、いつもお母さんから言われています。でも、「ハザードマップ」を見ると、千年以上に一回のごう雨でもぼくの家のある場所は土砂災害がいもしん水も想定されていないことが分かりました。それよりも、ひなん場所の小学校に行くときに土砂災害がいけいかい区いきや川があつて、無理にひなんすると、ぎやくにきけんかもしれないことを知りました。

それから「水の出ないトイレの使い方」と「ポリぶくろクッキング」について学びました。水や電気が使えなくなったりしたら、きっとパニックになってしまうと思います。でも、「水が出ないトイレの使い方」も「ポリぶくろクッキング」も、やってみるとかんたんで、ぼくでもお手伝いできそうです。

もし災がいが発生してもパニックにならず、落ち着いて行動し、自分やまわりの人を守れるようになりたいです。